

特別賞

生きものを大切にすつて・・・

六本木中学校 佐藤 ジョアナ 玲子

皆さんはカラスをどう思っていますか？

黒く少し大きめの体にギラギラとした目。道に棄てられているゴミは食い散らかすし、迷惑に思う事もあるでしょう。実は私もその一人でした。でも今はちがいます。

ある日、公園にカラスが二羽いました。

「シュツ・・・カーン・・・ワハハハ！」

ビックリしてふりかえると、20代くらいのサラリーマン風の男性数人が地面に転がっている石をカラスに投げつけていました。そして驚いたカラスが飛んで逃げていくのを見て大爆笑していました。

なぜ悪戯に生き物を傷つけるのか、悲しくてカラスをかわいそうに思いました。

私はカラスが怖くて、道にカラスがいる時は、すぐビクビクしながら前を通っていました。

でも、私が前を通れば大抵の場合カラスは驚いたように飛んでいきました。

考えてみると、人間がカラスに少し恐怖や嫌なことを感じる事があるように、カラスも人間からそういう事を感じているはずで

その事件を目の当たりにし、そう思った私は特別カラス

を苦手に思う事はなくなりました。

とは言っても、毎朝のようにカラスが食い散らかしたゴミを見ている私は、ゴミを食い散らかしているカラスに不快感を感じることがあります。

でも、エサを求めるのは生き物として当たり前のことで、道にエサになりうる物が転がっているのだから、それを食べるためにエサにならないものが散乱するのは仕方のない事でしょう。

むしろ、カラスが食い散らかさぬように人間が工夫するべきではないでしょうか？

ゴミを決まった場所に棄てるのはもちろんのこと、ネットを張るなりゴミ箱の蓋を閉めたり、工夫する事は不可能ではないはずです。

生き物を大切にする、という事は、生き物にとって優しいだけでなく、人間にとっても優しい事なのだと思います。優しい心を持てば、動物をかわいく見る事ができ、まわりの人も気持ちがいいです。

反対に優しい気持ちがあれば、動物も人間も嫌な思いしかせません。

カラスに限らず、身近な所から、地球の反対側まで、たくさんの生き物と私たちは共存しています。

そんな動物達と、楽しく気持ちよく共存するためには優しい心を持つ事が必要不可欠です。

特別な事はできないかもしれないけれど、私は優しい心を持ち続けたいです。